

平成29年度 桐生商工会議所  
「経営発達支援事業」評価報告書

平成30年5月

桐生商工会議所経営発達支援事業  
外部評価委員

## 目 次

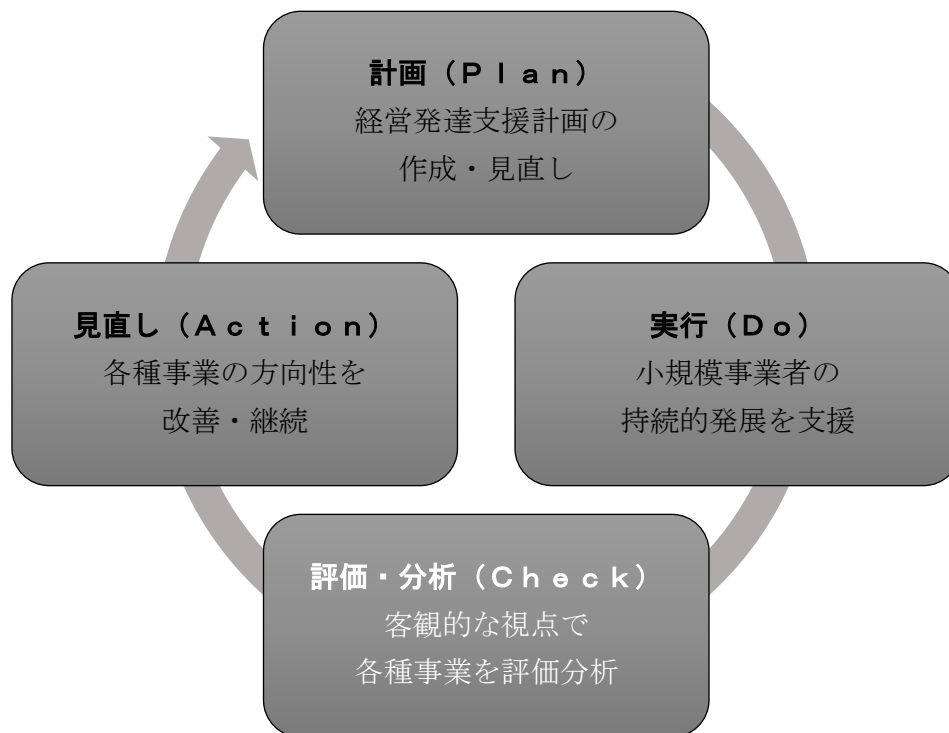
1	外部評価の目的	2
2	外部評価の流れ	3
3	外部評価員名簿	4
4	会議開催経過	4
5	評価視点と評価方法	5
	（1）評価視点	5
	（2）評価方法	5
6	外部評価結果	6
7	全体的な総括	15

## 1 外部評価の目的

桐生商工会議所では、平成27年7月に経済産業省より「経営発達支援計画」の認定を受け、5年計画で小規模事業者の持続的発展を支援するための各種事業に取り組んでいる。

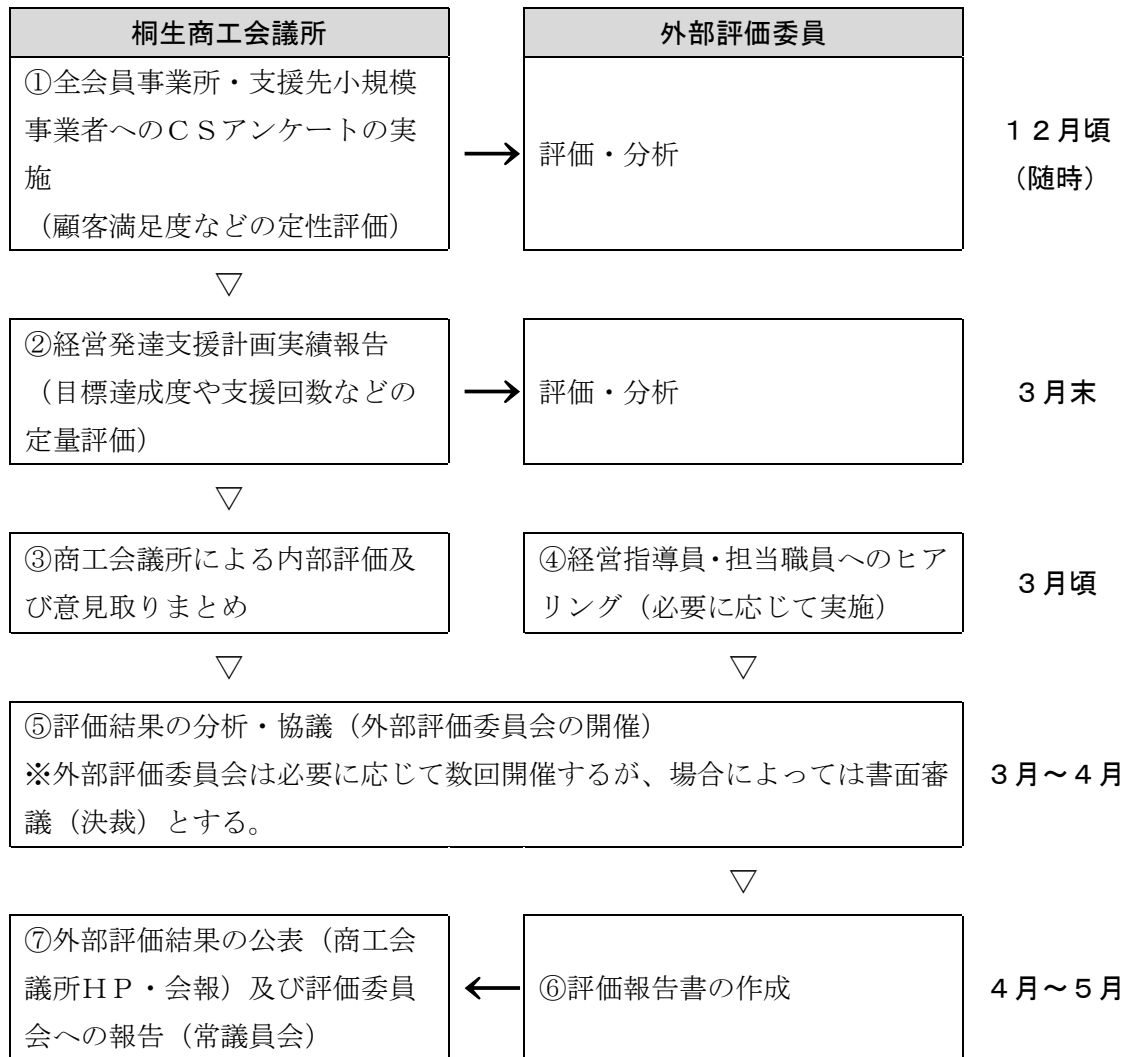
この外部評価は、経営発達支援事業を効果的に継続していくため、客観的な視点で各種事業を評価分析し、適切なPDCAサイクルを構築することを目的として行うものである。

外部評価委員は、支援実績と会員CSアンケート結果等に基づき、目標達成状況及び事業内容に対する評価分析を行い、経営発達支援事業評価報告書を作成、必要に応じて支援計画内容の見直しについて提言を行うものとする。



## 2 外部評価の流れ

外部評価は、以下のとおり実施する。



### 3 外部評価委員名簿

外部評価委員は、以下のとおり構成する。

任期は、平成27年12月1日から平成32年3月31日まで。

平成29年度委員

(敬称略)

氏名	所属	役職
石井 邦明	(株)日本政策金融公庫前橋支店 国民生活事業	国民生活事業統轄
齋藤 保史	(公財)群馬県産業支援機構	総合相談課長
新井 利幸	桐生市産業経済部	産業政策課長

平成30年度委員 ※平成30年4月の人事異動により変更

(敬称略)

氏名	所属	役職
石井 邦明	(株)日本政策金融公庫前橋支店 国民生活事業	国民生活事業統轄
齋藤 保史	(公財)群馬県産業支援機構	総合相談課長
森田 勝	桐生市産業経済部	産業政策課長

### 4 会議開催経過

会議の開催経過は、以下のとおりだった。

名称	日時・場所	内容
第4回 外部評価 委員会	平成29年11月8日(水) 午後2時~3時 桐生商工会議所501会議室	・伴走型支援の成果事例について ・経営発達支援事業の進捗状況について ・経営支援事業アンケートについて
第5回 外部評価 委員会	平成30年5月16日(水) 午前11時~正午 桐生商工会議所501会議室	・桐生商工会議所経営支援事業アンケート 桐生商工会議所会員事業所アンケート 集計結果について ・経営発達支援事業の外部評価について

## 5 評価視点と評価方法

### (1) 評価視点

チェック項目	評価の視点
必要性	小規模事業者を支援するために必要不可欠な事業であるか
	商工会議所が主体となって実施すべき事業であるか
	商工会議所内部の管理運営上必要な事業であるか
有効性	事業の成果は上がっているか
	目標に対する達成度は十分であるか
	地域経済の活性化に貢献しているか
	小規模事業者の課題解決に貢献しているか
	商工会議所内部の管理運営上の課題解決に貢献しているか
効率性	効率性向上に努めているか
	成果を落とさずにコストの削減や業務負担を縮小する方法はあるか

チェック項目と評価の判断基準は以下のとおりである。

必要性、有効性、効率性の各項目に対する評価の基準として、下図を参考に外部評価を行う。商工会議所の内部意見を踏まえ、総合的な外部評価とする。

	必要性・有効性が低い		必要性・有効性が高い	
効率性が低い	統合 ・ 終了	根本的見直し (縮小)	簡易な改善 (縮小)	
効率性が高い			簡易な改善 (拡大)	根本的見直し (拡大)

### (2) 評価方法

外部評価は、各事業の「数値目標・実績」に記入されている情報と「経営発達支援計画実施状況調査回答票」及び「桐生商工会議所満足度調査アンケート」の集計結果を参考に  
して行った。これらの資料から読み取れない部分は、担当者へのヒアリングにより補った。

資料及びヒアリング結果を踏まえ、各事業について、商工会議所の内部意見に対する今後の方向性を以下の判定基準に沿って評価した。

評価項目	判定基準	
計画どおり継続	現状の水準で、計画どおり事業を継続することが適当である	
簡易な改善	縮小	目標達成に向けて比較的簡易な改善（事業縮小）すべき点がある
	拡大	目標達成に向けて比較的簡易な改善（事業拡大）すべき点がある
根本的見直し	縮小	事業の目的や趣旨から事業縮小を根本的に見直す必要がある
	拡大	事業の目的や趣旨から事業拡大を根本的に見直す必要がある
統合・終了	これまでの事業実績や成果から、他事業との統合や事業終了を考えるべきである	

## 6 外部評価結果

各事業の外部評価結果は以下のとおり。

### 1. 経営発達支援事業の内容

#### I. 市場動向・支援施策・支援ツール等、経営に役立つ情報の収集・整理

実施内容・内部意見	外部評価・意見
<p>所内の経営支援に関する情報の統一化、提供の迅速化、共有化を図るための「経営支援情報共有データベースシステム」内の情報を管理・運用した。</p> <p>本システムでは、①市場動向情報②専門家情報③展示会・商談会情報④認証制度情報⑤マスコミ・プレス窓口情報⑥経営支援施策情報⑦支援ツール情報⑧マッチング事業者情報⑨バイヤー情報⑩代理出展サイト情報—の10カテゴリーごとに情報を格納・検索できる。</p> <p>29年度の専門家情報は、新規登録が6件あり、28年度と比べて、6件増加の合計60件となった。</p> <p>今後も、有益な情報収集を継続して行い、データベースに整理していくとともに、問題点や改善点に関するヒアリング調査を行い、課題を抽出し、利便性の向上を図り、登録いただいた専門家との連携を強化するとともに、新入会員を対象に新たな専門家を増やしていきたい。</p> <p>また、職員向けに財務分析ソフト活用勉強会や帝国データバンクによる情報活用勉強会を実施するなど指導員のスキルアップに努めた。</p>	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>データベースに収納した各種情報の更新・管理を徹底していただきたい。</p> <p>情報の充実化を図るとともにシステムの利便性向上にも努めていただきたい。</p>

## II. 小規模事業者の経営状況の調査、分析、整理権利化

取組項目	実施内容・内部意見	29年度 目標	29年度 実績	外部評価・意見
既に保有している紙媒体の事業者情報のデータ化	融資や補助金申請時の所内に蓄積されている小規模事業者の経営情報をデータ化した。	60件	68件	<b>計画どおり継続</b>
ヒアリングによる経営状況の分析及び整理 (知的資産経営レポート作成支援含む)	平成28年7月に施行された中小企業等経営強化法に伴い、ローカルベンチマークなどの経営診断ツールにより、中小企業・小規模事業者の「経営力向上計画」の策定支援に取り組んだ。	15件	13件	<b>計画どおり継続</b>  継続的に取り組んでいただきたい。 全指導員が統一的な支援を行えるよう更なる支援力向上に努めていただきたい。 効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。
無形資産の権利化支援	無形資産を権利化(営業秘密管理規定設置、業務提携契約締結等)することで、小規模事業者の防衛体制強化を図る計画だが、実績は無かった。	2件	0件	<b>計画どおり継続</b>  実績は無かったが、事業者のニーズを掘り起し、継続的に取り組んでいただきたい。 効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。

## III. 経営計画の策定支援

取組項目	実施内容・内部意見	29年度 目標	29年度 実績	外部評価・意見
経営計画策定セミナー開催	①創業スクールの開催 11/7・11/9・11/14・11/16・11/21・11/28・11/30(全7日間) 50人 ②10/23 「ビジネスプラン作成講座」 初鹿野浩明氏 15人	7回	8回	<b>計画どおり継続</b>  必要性は高いため、継続的に取り組んでいただきたい。



<p>経営計画策定支援 (持続化補助金支援含む)</p>	<p>小規模事業者持続化補助金(12件)、経営力向上計画(13件)、サービス等生産性向上IT導入補助金(15件)、市・県パートナーシップ支援型補助金(2件)、地域経済牽引事業計画(5件)、経営改善計画(3件)、新事業分野開拓事業者認定(1件)、桐生市新規工房開設補助金(1件)、桐生市空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金(5件)における申請時に経営計画の策定を支援した。 今後も計画に沿って支援していきたい。</p>	<p>27件</p>	<p>57件</p>	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>目標値を大きく上回る実績を上げており評価できる。 件数と支援内容が反比例しないように継続して取り組んでいただきたい。 また、全指導員が統一的な支援を行えるよう更なる支援力向上に努めていただきたい。</p>
<p>経営革新計画策定支援(採択数)</p>	<p>28年度は0件だったが、29年度は3件だった。 特に、28年度以降は経営力向上計画にシフトする傾向にあるが、今後も計画に沿って支援していきたい。 (自動車整備業:1件、製造業:2件)</p>	<p>6件</p>	<p>3件</p>	<p><b>簡易な改善(縮小)</b></p> <p>目標値を下回っているが、事業者のニーズを掘り起し、継続的に取り組んでいただきたい。 専門家相談等も有効に活用し、支援件数を増やせるよう努めていただきたい。</p>

#### IV. 策定した経営計画の実行支援

##### ・販路開拓支援

取組項目	実施内容・内部意見	29年度目標	29年度実績	外部評価・意見
<p>新商品等プレスリリース支援</p>	<p>小規模事業者の新商品・新サービス・新技術等の情報を収集し、当所の広報媒体から随時発信するとともに、マスコミに対して投げ込みを行うことで、PR支援を行った。 12/6に「第1回ビジネスプレス発表会」を</p>	<p>7件</p>	<p>13件</p>	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>必要性は高いため、継続的に取り組んでいただきたい。 SNS等で手軽に行えるPRからマスメディアへの周知まで幅広いメニューを整備する必要があ</p>

	開催。(発表企業：5社、参加者：約30人) 30年度も開催を計画している。			る。 また、マスコミとの連携も強化していただきたい。
HPの事業者紹介ページ掲載	小規模事業者をPRするオリジナル映像を制作し、動画投稿サイトYouTubeにアップし、当所HP「サポートステーション」で紹介した。 今後も計画に沿って支援していきたい。	25件	25件	<b>計画どおり継続</b>  継続的に取り組んでいただきたい。 動画による事業者紹介は、先進的な取り組みであり、完成度も高く評価できる。
展示会・即売会等出展(回数)	①8/18 「技のヒット甲子園 in まるごとにつぼん」 まるごとにつぼん(東京浅草) ②11/20-11/22 「技のヒット甲子園 in IFFT」 東京ビッグサイト ③2/7-2/9 「feel NIPPON 春 2018」 東京ビッグサイト ④2/14-2/16 「nanotech 2018 国際ナノテクノロジー総合展」 東京ビッグサイト ※桐生市展示会出展補助金申請支援 ⑤3/24-3/25 「日本の逸品×Creema ハンドメイドマーケット」 二子多摩川 rise	3回	5回	<b>計画どおり継続</b>  継続的に取り組んでいただきたい。 ターゲットを明確にして出展計画を立てていただきたい。
展示会等出展(延べ参加企業数)	上記の展示会・即売会に参加した企業数。 (繊維工業、製造業等) 内訳は以下の通り。 ①2事業所 ②4事業所 ③1事業所 ④1事業所 ⑤1事業所	20件	9件	<b>計画どおり継続</b>  目標値を下回っているが、事業者のニーズを掘り起し、継続的に取り組んでいただきたい。 一部の参加企業に偏ることなく、新規事業所も取り込めるよう支援していただきたい。

<p>バイヤー等取引斡旋（成約数）</p>	<p>上記の展示会・即売会においてバイヤーとの取引斡旋があり成約した数。（単なる物販は除く） 内訳は以下の通り。 ①0件 ②18件 ③2件 ④5件 ⑤0件</p>	<p>16件</p>	<p>25件</p>	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>継続的に取り組んでいただきたい。 一部の参加企業に偏ることなく、新規事業所も取り込めるよう支援していただきたい。 商品や企業の効果的なPRをレクチャーできるとなおよい。</p>
<p>販路開拓セミナー開催</p>	<p>①5/15 「将来につながる！次世代のクルマ」 飯山明裕氏 101人 ②7/10 「国の補助金を活用したレジ・タブレット導入セミナー」 櫃間 霞氏 15人 ③8/28 「海外展開支援セミナー」 金子昌弘氏・小笠原創一氏 53人 ④10/6 「経営に役立つ省エネセミナー」 中田 円氏 17人 ⑤2/8 経営安定セミナー「営業は2割打者で大丈夫！」 中保達夫氏 28人 ⑥2/15 環境セミナー「来期の省エネ補助金の活用について」 石川智治氏 32人</p>	<p>5回</p>	<p>6回</p>	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>継続的に取り組んでいただきたい。 参加者へのアンケート調査等も行い、より必要性・有効性の高いセミナーを企画していただきたい。</p>
<p>小規模事業者持続化補助金申請支援（採択数）</p>	<p>小規模事業者持続化補助金の採択数。 【28年度2次補正（追加公募分）】 12件申請7件採択（採択率58.3%）</p>	<p>26件</p>	<p>7件</p>	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>目標値を下回っているが、国の予算による公募状況に左右されるため、事業者のニーズを掘り起し、継続的に取り組んでいただきたい。</p>

・資金調達支援

取組項目	実施内容・内部意見	29年度 目標	29年度 実績	外部評価・意見
マル経資金・中小企業経営力強化資金による資金調達支援	<p>マル経資金融資を経営計画実行のための「攻め」の手段として積極的に活用し、経営発達に向けた資金調達支援を行った。</p> <p>また、策定した経営計画を日本政策金融公庫と共有し、中小企業経営力強化資金の優遇利率制度により資金調達支援を行った。</p> <p>今後も計画に沿って支援していきたい。</p>	20件	13件	<p><b>簡易な改善（縮小）</b></p> <p>小規模事業者の実態に合った支援を心がけ、継続的に取り組んでいただきたい。</p>
ものづくり補助金等申請支援による資金調達支援（持続化補助金除く）	<p>ものづくり・商業・サービス革新補助金の公募が無かったため、29年度は0件だったが、29年度補正（30年度実績）の申請支援に取り組んでいる。</p>	8件	0件	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>実績は無かったが、国の予算による公募状況に左右されるため、事業者のニーズを掘り起し、継続的に取り組んでいただきたい。</p> <p>効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。</p>

・現場改善支援

取組項目	実施内容・内部意見	29年度 目標	29年度 実績	外部評価・意見
改善・5S支援	<p>現場改善の専門家と連携して経営計画実行に必要な業務効率化や5S活動推進についての実践的な支援を行った。（製造業：3件、繊維製品小売業：1件、飲食業：1件、土木工事業：1件）</p> <p>今後も計画に沿って支援していきたい。</p>	6件	6件	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>継続的に取り組んでいただきたい。</p> <p>専門家相談等も有効に活用し、支援件数を増やせるよう努めていただきたい。</p>

省エネ化支援	<p>「無料省エネ診断制度」、「群馬環境GS推進員派遣制度」等を活用し、省エネ化の専門家と連携して経営計画実行に必要な省エネ化・経費削減支援を行った。(製造業：4件、繊維製品小売業：2件、飲食業：2件、建設業：1件、卸売業：1件、広告業：1件)</p> <p>今後も計画に沿って支援していきたい。</p>	6件	11件	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>継続的に取り組んでいただきたい。 専門家相談等も有効に活用し、支援件数を増やせるよう努めていただきたい。</p>
--------	--	----	-----	---

・開発支援

取組項目	実施内容・内部意見	29年度目標	29年度実績	外部評価・意見
技術開発支援	<p>北関東産官学研究会、群馬産業技術センター、群馬県繊維工業試験場、群馬大学等の研究機関や技術開発の専門家と連携して経営計画実行に必要な技術的課題解決支援を行った。(製造業：4件)</p> <p>今後も計画に沿って支援していきたい。</p>	3件	4件	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>継続的に取り組んでいただきたい。 効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。</p>
デザイン開発支援	<p>デザイン開発の専門家や当所に専門家登録いただいたデザイナーと連携して小規模事業者とのマッチングを行い、商品・パッケージ・ロゴ・HP・店舗などのデザイン性向上の支援を行った。(製造業：3件、小売業：1件、飲食業：1件)</p> <p>今後も計画に沿って支援していきたい。</p>	3件	5件	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>継続的に取り組んでいただきたい。 効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。</p>
知的財産権利化支援	<p>弁理士や群馬県発明協会などの知財関係の専門家と連携し、小規模事業者の特許取得など開発に関する権利化</p>	3件	5件	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>継続的に取り組んでいただきたい。</p>

	の支援を行った。(小売業：2件、自動車整備業：1件、製造業：1件、飲食業：1件) 今後も計画に沿って支援していきたい。			効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。
--	--	--	--	---

・ 専門的課題解決支援

取組項目	実施内容・内部意見	29年度目標	29年度実績	外部評価・意見
M&A・事業承継支援	「群馬県事業承継ネットワーク構築事業」の一環として、事業承継診断のヒアリング調査を実施し、事業承継問題を抱えている事業所の実態把握、課題整理を行った。(製造業：6件、小売業：1件) 今後も計画に沿って支援していきたい。	2件	7件	<b>計画どおり継続</b>  継続的に取り組んでいただきたい。 特に、今後相談が増えると予想される内容なので、関係機関や専門家との連携を強化し、支援力向上に努めていただきたい。

2. 地域の活性化に資する取組み

取組項目	実施内容・内部意見	29年度目標	29年度実績	外部評価・意見
伝統的建造物マッチング物件掲載	ノコギリ屋根工場や古民家等の伝統的建造物の所有者へのヒアリング調査を行い、空き物件情報を紹介し、利用したい事業者・創業者とのマッチングを行う計画だが、対象物件自体も減少傾向にあり、29年度の実績は無かった。 今後もファッションタウン桐生推進協議会と連携し計画に沿って支援していきたい。	5件	0件	<b>簡易な改善（縮小）</b>  実績は無かったが、必要性は高いため、業務効率や進め方を改善して取り組んでいただきたい。 行政との情報共有にも努め、情報をいち早く入手、提供できるようにしておく必要がある。
伝統的建造物マッチング成約数	桐生市新規工房開設補助金や桐生市空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金の申請支援を行い、古民家や工場、空き店舗等	3件	3件	<b>計画どおり継続</b>  継続的に取り組んでいただきたい。 行政の支援施策や専門

	を改修した新店舗や事業所の開設を支援した。			家相談等も有効に活用し、成約件数を増やせるよう努めていただきたい。
シルクルプロジェクト観光客誘致数	26年度に取り組んだ「桑やシルクを地域資源とした体験型観光プログラムの開発事業（シルクルプロジェクト）」から商品化されたツアー等での誘致を計画しているが、29年度はツアー等が実施されず、実績は無かった。	100名	0名	<p><b>簡易な改善（縮小）</b></p> <p>実績は無かったが、継続的に取り組んでいただきたい。</p> <p>PR活動も積極的に行い、桐生市観光交流課や観光協会、旅行者、参画企業と一体となって事業を継続できる体制を整えていただきたい。</p>
Room of KIRYU プロジェクト取引成約数	※販路開拓支援のバイヤー等取引斡旋（成約数）と同内容。	16件	25件	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>継続的に取り組んでいただきたい。</p> <p>一部の参加企業に偏ることなく、新規事業所も取り込めるよう支援していただきたい。</p> <p>商品や企業の効果的なPRをレクチャーできるとなるとよい。</p>

### 3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

実施内容・内部意見	外部評価・意見
<p>(1)群馬県内の商工会議所・商工会・金融機関などが参加し開催される「群馬県中小企業サポーターズミーティング」、「群馬県中小企業支援プラットフォーム会議」および「経営革新等支援機関担当者会議」において、他の支援機関の成功事例・支援ノウハウ・支援施策などの情報交換を行った。</p> <p>(2)桐生市・桐生地域地場産業振興センター・北関東産官学研究会・キッズバレイ・桐生商工会議所・桐生市新里商工会・桐生市黒保根商工会・桐生信用金庫の市内8機関で構成される「桐生市創業支援ネットワーク」において、創業希望者や創業間もない事業者に関する情報について会議及び電子カルテ共有で情報交換を行い、特定創業支援事業に関する証明書を4件交付した。また、創業希望者を対象に「創業塾」を開催し、50名が受講した。</p> <p>(3)桐生市・桐生信用金庫・桐生商工会議所の3者共催による「ビジネスマッチングフェア桐生2017」を開催し、情報発信と新規取引先の開拓を支援した。また、「新現役交流会」を開催</p>	<p><b>計画どおり継続</b></p> <p>今後もセミナーや勉強会等に積極的に参加し、全指導員の支援力向上に努めていただきたい。</p> <p>また、効率良く支援を行えるよう行政や関係機関、専門家との連携を強化し、情報を共有していただきたい。</p>

し、様々な課題を抱える中小企業事業者と企業OB（新現役）とのマッチングを支援した。

(4)「ビジネスプレス発表会」を開催し、企業の新商品・新サービスをマスコミにPRする場を提供し、企業の広報活動ならびに販路拡大を支援した。

(5)経営指導員及び補助員は、小規模事業者に対して当所議員や専門家を派遣し支援を行う場合、あるいは他の支援機関と連携して支援を行う場合は、特別な事情がある場合を除き原則同席し、支援全体の適切なコーディネートを行うとともに、当所職員自身のOJTとして専門的支援のノウハウ習得に努めた。

(6)「商工会議所応用研修」に全経営指導員が参加し、支援ノウハウ習得に努めた。また、中小機構が中小企業大学校で実施する「中小企業支援担当者等研修（1週間～1ヶ月程度）」に毎年2名程度の経営指導員を参加させ、支援ノウハウ習得に努めた。

(7)「商工会議所基礎研修」に全補助員が参加し、支援ノウハウ習得に努めた。

(8)全会員事業所及び支援先小規模事業者に対してCSアンケートを実施し、経営発達支援事業に関する顧客満足度の定性面の実績評価を行った。

## 7 全体的な総括

桐生商工会議所の「経営発達支援事業」については、各事業の目標値に対する実績に若干差異が見受けられるものの、補助金申請支援等の主要な事業では目標値を達成しており、全体的には計画に沿った支援事業が行えていると判断できる。

特に、支援事業実施3年度目となる平成29年度は、事業承継支援と無形資産の権利化支援の取組みが新たに加わり、全ての支援計画が実施され、これまでに構築した支援体制や蓄積したノウハウをフル活用していく段階となった。こうした中で、経営発達支援計画の基幹となる経営課題の根本的解決をサポートするための経営分析や経営計画策定支援を積極的に実践した。

経営指導員8名が対応した29年度の相談件数は、巡回訪問件数が1,984件、電話を含む窓口対応件数が1,828件であり、小規模事業者に寄り添った伴走型支援を実践した結果であると言える。

具体的には、各種補助金申請等における経営計画策定支援実績は、小規模事業者持続化補助金（12件）、経営力向上計画（13件）、サービス等生産性向上IT導入補助金（15件）、市・県パートナーシップ支援型補助金（2件）、地域経済牽引事業計画（5件）、経営改善計画（3件）、新事業分野開拓事業者認定（1件）となっている。また、桐生市の創業促進を目的とした桐生市空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金（5件）、桐生市新規工房開設補助金（1件）の申請支援にも積極的に取り組んだ。総数（57件）を見ると、28年度と比べて減少しているが、一部の補助金に関しては、国の予算による



公募状況に左右され、実施年度によって支援実績に反映されることに起因している。それでも、目標値を大きく上回る実績を上げており、支援体制の充実と支援ツールの整備により、迅速かつ効率的に取り組んだ成果であると言える。

専門家派遣支援では、企業支援ポータルサイト「ミラサポ」を活用した派遣が64企業（136回）、群馬県よろず支援拠点の「よろず出張相談会」での専門相談が23企業（62回）となっており、各支援機関や専門家と連携した小規模事業者支援にも継続的に取り組んでいる。

さらに、新たな取組みとしては、事業者の新品や新サービスをPRするための「ビジネスプレス発表会」を初開催し、広報活動と販路拡大を支援するとともに、各種メディアで話題性のある情報を発信してもらうことで、地域経済の活性化を図った。

また、創業支援に関する項目の記載は無いが、小規模事業者の経営の安定を図るとともに、創業者への支援にも努め、創業希望者を対象にした「創業塾」を開催するなど、管内の基盤の充実を図った。一方で、29年度から開始したM&A・事業承継支援については、全国的な社会問題である少子高齢化が背景にあり、「群馬県事業承継ネットワーク構築事業」の中で、実態を把握するべく事業承継診断を実施した。今後も、事業承継の課題を見極めた上で適切な支援を提供するため、関係機関や専門家との連携を強化し、支援力向上に努めていく必要がある。

最後に、本評価が今後の支援事業の実施に際し、適切に反映されるよう要望し平成29年度の外部評価とする。

以上

平成29年度 桐生商工会議所  
「経営発達支援事業」評価報告書

平成30年5月

作成：桐生商工会議所経営発達支援事業外部評価委員

編集・発行：桐生商工会議所

〒376-0023 群馬県桐生市錦町3-1-25

電話 0277-45-1201

FAX 0277-45-1206